

連続講座「鳥取県の考古学」第6回
平成30年12月16日

古代人の祈り ～木製祭祀具が語るもの～

鳥取県埋蔵文化財センター
坂本嘉和

現代の祓(はらえ)

流し雛・鳥取市用瀬町



鳥取県HP写真ライブラリより

古代の祓とは？

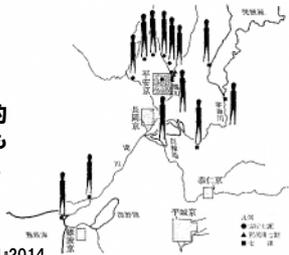
罪や穢れ、災厄を心身から取り除くための神事。古代律令体制では重要な神事で、国家規模で行うこともある。

大祓

年6月と12月の晦日に行う大規模な祓。大宝律令によって、正式に宮中行事に定められた。朱雀門の広場で親王以下、臣下が集まり、大祓詞を読み上げる。

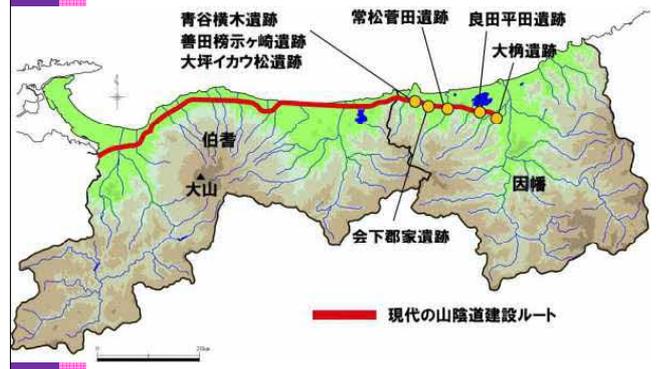
七瀬祓

平安京で毎月、または臨時に行った祓で、7カ所の瀬、もしくは海に臨んで行ったもの。
⇒鎌倉幕府でも継承。



金子裕之『古代都城と律令祭祀』2014

発掘された主な祭祀遺跡



青谷横木遺跡

2万点を超える木製祭祀具

⇒兵庫県袴狭遺跡群と並ぶ国内最大級の祭祀遺跡。

遺跡内で祓を中心とする大規模な律令的祭祀。

多種多様な木製祭祀具

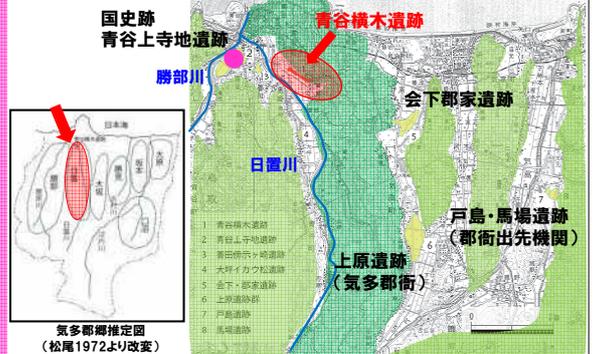
- 人形
- 動物形(馬形・牛形・鳥形)
- 舟形
- 武器形(刀形・剣形・鎌形)
- 工具形(刀子形・斧形)
- 農具形(鎌柄形・エブリ形)
- 琴柱形
- 勾玉形
- 畜串
- 必要な道具立てがほぼ揃う。



青谷横木遺跡から出土した木製祭祀具

青谷横木遺跡とは？

因幡国気多郡
日置郷



青谷横木遺跡とは？

飛鳥時代から平安時代のわが国を代表する遺跡

古代山陰道や条里地割を発見。

⇒セットでの確認は青谷上寺地遺跡に次ぐ国内2例目。

⇒柳の街路樹の発見は国内初。

木簡は県内最多の約80点が出土。

⇒周辺に官衙(役所)が置かれた。

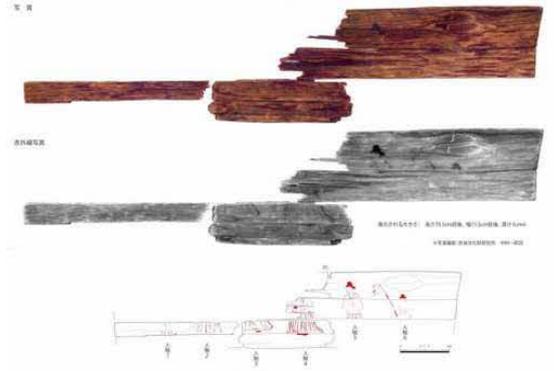
おそらく、因幡国気多郡衙(郡役所)の出先機関。

発見された古代山陰道と復元イラスト



青谷横木遺跡とは？

『女子群像』板絵 高松塚古墳壁画に次ぐ国内2例目



人形(ひとがた)

人間の形代(かたしろ)
律令的祭祀の主役。



青谷横木遺跡出土人形



人形(ひとがた)

用途: 呪い・病気治療・祓など⇒祓が一般的。

「ひと撫でひと吹き」し、人形に罪や穢れを移して水に流す。

7世紀中ごろに都で使用が始まり地方官衙を通じて各地に波及。

⇒起源は中国の人形。

『源氏物語』須磨の一節

「…この国に通ひける陰陽師召して

祓へさせ給ふ。船にことごとしき人形

載せて流すと見給ふにも……」

⇒光源氏が祓に人形を流す場面。

人形(ひとがた)

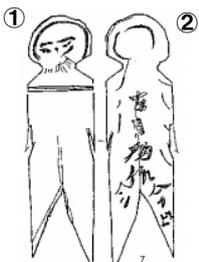
①病気治療

平城宮出土人形「左目病作今日」典薬寮所属の呪禁師

②呪い(呪詛)

平城宮内裏大膳職大井戸 両眼と胸に木釘を打ち込んだ人形が出土。「坂部秋口」人名墨書⇒呪った人?

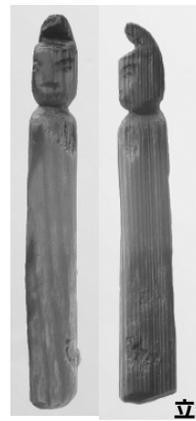
平城宮若犬養門付近の苑池 鉄釘が打たれた人形



青谷横木遺跡

変わった人形

青谷横木遺跡出土人形



立体人形



仏人形

三道

袈裟
偏旦右肩

馬形（うまがた）

馬の側面観を現したもの。
鞍のある『飾り馬』と鞍の無い『裸馬』とがある。
細棒で地上に挿し立てる。

細棒(4本のタイプ)



細棒(1本のタイプ)

善田傍示ヶ崎出土馬形



青谷横木遺跡出土馬形

馬形（うまがた）

水神への捧げもの（水霊信仰）

または、

穢れを背負った人形を他界（根の国、底の国）に運ぶための乗り物

⇒鳥形や舟形も同じ役割を担ったか。

○聖徳太子の乗馬＝「空を凌ぎ雲を踏む」駿馬
『上宮聖徳太子伝補関記』

○大伴旅人(大伴家持の父)『万葉集』
「龍の馬を今も得てしかあおによし奈良の都に行きて来むために」
⇒「龍の馬」を得て、任地であった大宰府から都に戻りたいと願った和歌。

舟形（ふながた）

弥生時代から続く模造品
細棒で地上に挿し立てる。

水神への捧げもの
または、

穢れを背負った人形を乗せ
あの世に運ぶ乗り物

青谷横木遺跡出土舟形

立体タイプ



平面タイプ

目



孔

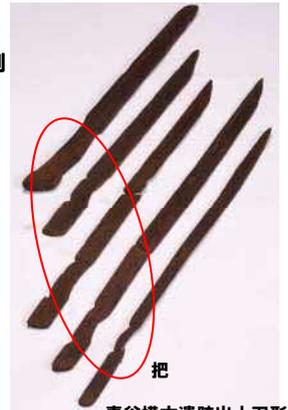
刀形（かたながた）

古墳時代から続く模造品

武器形はその他に鎌型や剣型、槍矛形なども出土。

敵から身を守る。

⇒「敵」とは人間界に様々な障害をもたらす疫神、祟り神。



把

青谷横木遺跡出土刀形

斎串（いぐし・ゆぐし）

祭祀場に結界を貼る串
切欠く場所や数によってさまざまタイプがある。

『万葉集』

「斎串立て神酒坐え奉る
神主部の髻華の玉蔭見ればともしも」



青谷横木遺跡出土斎串

その他の木製祭祀具



琴柱形



農具形（エブリ形）

その他に農具形（鎌柄形）
や工具形（刀子形や斧形）
などがある。



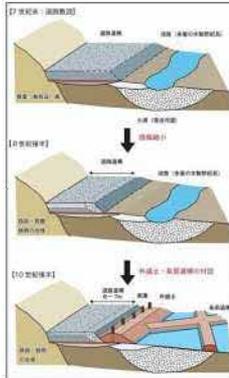
勾玉形

木製祭祀具はどこから出土？

山陰道沿いの自然河道から多く出土。
⇒道路上、もしくは路傍に祓所？



河道から出土した大量の木製祭祀具



青谷横木遺跡の道路変遷

木製祭祀具はどこから出土？

自然河道以外にも山陰道の道路盛土の敷葉・敷粗
朶層内からも出土。
道路建設に伴う祭祀
⇒祓とは異なる地鎮？



敷葉・敷粗朶



人形



馬形

祭祀具と動物骨

道路遺構の盛土、もしくはその下層にある自然河道から木製祭祀具とともに出土。

ウシ:31点
最小個体数:5
大型の個体が目立つ

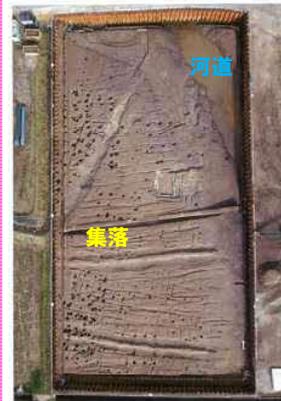
ウマ:9点



青谷横木遺跡出土獣骨

大桝遺跡（鳥取市大桝）

奈良時代から平安時代の集落



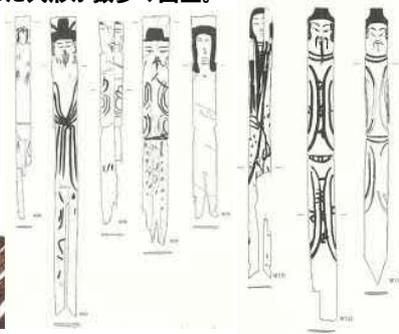
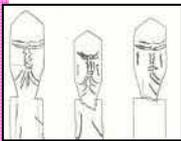
河道から出土した木製祭祀具



ウマの下顎骨

大桝遺跡

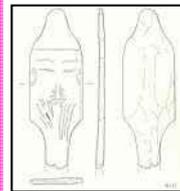
顔や服装が描かれた人形が数多く出土。
近傍に祓所



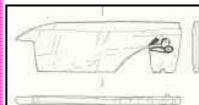
人形

良田平田遺跡（鳥取市良田）

役所関連施設（末端官衙施設）
7世紀に遡る県内最古級の木簡



人形



馬形



常松菅田遺跡 (鳥取市気高町常松)

平野を流れる河道からまとまって出土。
馬形の出土が多く、人形の2.5倍以上。



会下郡家遺跡 (鳥取市気高町会下、郡家)

平安時代の役所関連施設



女性人形

なぜ、青谷平野？

祭祀遺跡も多く、突出した出土量も突出する。
⇒大規模な律令的祭祀

一般的に集中する場所
⇒国府や郡衙周辺

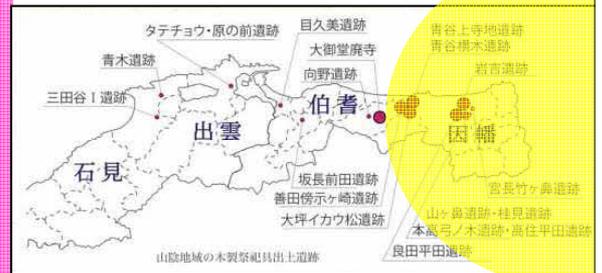
青谷=遠く離れた因幡と伯耆の国境(境界)



古代出雲歴史博物館編2009『企画展 平城遷都1300年 出雲国誕生と奈良の都 因幡』より

なぜ、青谷平野？

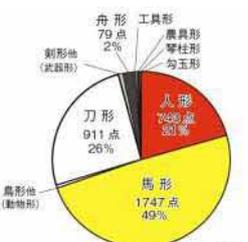
山陰地方における木製祭祀具の出土分布



(鳥根県立古代出雲歴史博物館編2015より)

なぜ、青谷平野？

人形748点に対して、馬形は1,747点
実に2.3倍。通常は1:1に近い。
通常の祓とは異なる祭祀形態？



なぜ、青谷平野？

古代の青谷平野にはラグーンが存在。
交通の難所であるが、水陸交通の結節点



交通に関わる祭祀

道饗祭

6月と12月の晦日に行われ、鬼魅が京師や宮内に来り入るのを防ぐため、京城四隅の道の上に供物を設け、饗応する祭。

疫神祭・障神祭

『延喜式』卷三臨時祭「蕃客送堺神祭」

蕃客、つまり外国使節が入朝する際は、畿内の堺に迎え、送ってきた外国神を祭ることで、除け去り、京内に疫神が侵入するのを防いだ。

青谷横木遺跡や袴狭遺跡など日本海側で大量の木製祭祀具
⇒日本海全域で異国からの疫神除けの大祓が数多く行われたとする見解（大平茂氏）。

国家祭祀と沖ノ島 国家レベルの境界祭祀



出土した石製模造品

兵庫県立考古博物館『古代祭祀の世界』2009